

政治学委員会政治過程分科会（第25期・第3回）

議事要旨

出席者（五十音順）：井田、石上、河野、小林、谷口、堤、中谷、西川

1. 会議名 政治学委員会政治過程分科会（第25期・第3回）
2. 日時 令和5年3月4日（土）17時00分～19時00分
3. 会場 オンライン
4. 議題

（1）公開シンポジウムに関する報告

本分科会等の主催で、以下の公開シンポジウムを実施した。

1 名称：公開シンポジウム

「地方におけるデジタル・ガバナンス—政治・行政・民主主義のアップデートに向けて」

2 日本学術会議の主催者：政治学委員会政治過程分科会

3 その他の主催団体等：

主催：科学研究費補助金（基盤研究(A)「JESVII調査実施による選挙研究から代議制民主主義研究への展開とデータ公開」（代表 小林良彰）

共催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科パブリックシステム・ラボ

4 開催日時：令和5年3月4日（日）14時00分～17時00分

5 開催場所：オンライン

6 趣旨：

政治・行政のデジタル化は国だけでなく、少子高齢化や人口偏在といった課題を抱える地方においても重要な方策となっている。デジタルを通じた政策立案過程の高度化や市民参加の活性化を目指す上で、国内外の動向を確認し、活動の実態や課題、今後の方向性について、多様な立場で情報共有を行った。

7 参加人数：

講演者等：司会者1名、挨拶者1名、報告者6名、討論者2名

その他の参加者：70名

8 特記事項：

大学教員・研究者・学生、地方議員、公務員、報道（新聞社、NHK等）、各種団体（総務省、内閣府、選挙管理委員会、都道府県議会議長会、NPO法人など）関係者等、幅広い参加を得た。

（２）来年度以降の活動について

- ・明治高校における主権者教育授業の継続実施を検討することとした。

（３）その他

- ・会員・連携会員の推薦や在任期間等について、意見交換を行った。
- ・次回分科会を、2023年9月開催の日本政治学会研究大会時に行うこととした。

以上